

安価で使いやすい天蚕採卵容器

市販のネット袋と針金輪を組み合わせ、袋の上部に空間を持たせた容器を使うことにより、天蚕の交尾・採卵が容易に行える。



天蚕蛾が交尾し産卵を開始した後は、卵と蛾を散逸させないため、針金の輪を取り出して、袋を閉じる。

写真左：天蚕採卵容器

この交尾・採卵容器の価格は1組 60 円程度と安価で耐久性に富み、使用後の収納や消毒が容易である。

この容器を使った場合の天蚕蛾の交尾率は従来の竹かごを使った場合と同程度である。

ネット袋	33×23cm ヒモ付出荷ネットを利用
針金輪	直径 15cm 菊花輪台を利用